

# 2020年12月期第2四半期 決算補足説明資料

2020年8月14日

株式会社HANATOUR JAPAN



東証マザーズ コード 6561

# サマリー

2020年12月第2四半期は前年同期比83.4%減収 11億円営業損失  
為替差損402百万円を計上し14.8億円経常損失

新型コロナウイルス感染症の影響による減収減益  
収束時期は依然として不透明

「Gorilla」によるFIT（個人向け）の強化  
「Go To Travelキャンペーン」見据え国内向けBtoC サイトの開発

営業方針を転換  
国内需要取り込む

## 2020年12月期2Q 実績サマリー

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による低迷に加え為替差損（402百万円）が発生

	2019/12		2020/12 前期比			
	2Q	構成比	2Q	差額	増減率	構成比
売上高	<b>4,207</b>	100.0	<b>696</b>	△ 3,511	△ 83.4	100.0
営業利益	<b>571</b>	13.6	△ <b>1,126</b>	△ 1,697	-	△ 161.8
経常利益	△ <b>167</b>	△ 4.0	△ <b>1,488</b>	△ 1,322	-	△ 213.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ <b>31</b>	△ 0.7	△ <b>1,654</b>	△ 1,624	-	△ 237.6

1株当たり当期純利益	△ <b>2.88</b>	△ <b>151.90</b>
------------	---------------	-----------------

為替レ－ト JPY/100KRW	2019.12.2Q	2020.12.2Q	参考 期首レ－ト
	9.33	9.00	9.46

## 2020年12月期2Q 損益計算書

韓国ウォン安による為替評価損（営業外費用）と事業構造改善費を特別損失に計上

単位：百万円（百万円未満切捨て）、%

	2019/12		2020/12				前期比
	2Q	構成比	2Q	増減	伸率	構成比	
売上高	4,207	100.0	696	△ 3,511	△ 83.4	100.0	売上原価 ・バス事業：△526百万円 ・免税事業：△256百万円
売上原価	1,297	30.8	419	△ 878	△ 67.7	60.2	販管費 ・旅行事業：△16百万円 ・バス事業：△ 74百万円 ・免税事業：△732百万円 ・ホテル事業：△ 15百万円 (札幌大通ホテルの販管費 +187百万円)
売上総利益	2,910	69.2	276	△ 2,634	△ 90.5	39.7	営業外費用
販管費	2,338	55.6	1,403	△ 935	△ 40.0	201.6	為替差損 402百万円
うち人件費	771	18.3	462	△ 309	△ 40.1	66.4	特別損失 ・旅行、バス事業の構造改善 94百万円 ・減損損失（旅行・バス事業） 59百万円
営業利益	571	13.6	△ 1,126	△ 1,697	-	△ 161.8	
経常利益	△ 167	△ 4.0	△ 1,488	△ 1,321	-	△ 213.8	
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 31	△ 0.7	△ 1,654	△ 1,623	-	△ 237.6	

## 2020年12月期2Q セグメント別

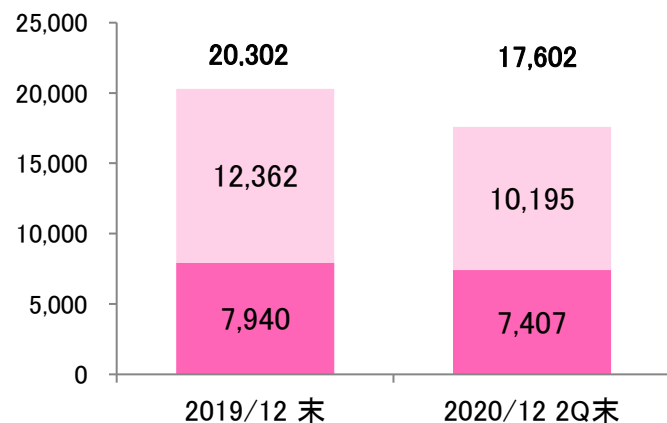
単位：百万円（百万円未満切捨て）、%

		2019/12 2Q	2020/12 2Q	前期比		
				増減	伸率	構成比
旅行事業	売上高	1,477	121	△ 1,356	△ 91.8	17.4
	セグメント利益	445	△ 167	△ 612	—	14.8
	利益率	30.1	—	—	—	—
バス事業	売上高	1,215	187	△ 1,028	△ 84.6	26.9
	セグメント利益	191	△ 234	△ 425	—	20.8
	利益率	15.7	—	—	—	—
免税販売店事業	売上高	1,252	96	△ 1,156	△ 92.3	13.8
	セグメント利益	69	△ 97	△ 166	—	8.6
	利益率	5.5	—	—	—	—
ホテル等施設運営事業	売上高	922	347	△ 575	△ 62.4	49.9
	セグメント利益	95	△ 441	△ 536	—	39.2
	利益率	10.3	—	—	—	—
その他	売上高	117	33	△ 84	23.5	4.7
	セグメント利益	△ 19	4	23	—	△ 0.4
	利益率	—	—	—	—	—
小計	売上高	4,984	786	△ 4,198	△ 84.2	112.9
	セグメント利益	782	△ 936	△ 1,718	—	83.1
	利益率	15.7	—	—	—	—
調整等	売上高	△ 777	△ 89	688	△ 88.5	△ 12.8
	セグメント利益	△ 211	△ 190	21	—	16.9
	利益率	—	—	—	—	—
合計	売上高	4,207	696	△ 3,511	△ 83.4	100.0
	営業利益	571	△ 1,126	△ 1,697	—	100.0
	利益率	13.6	—	—	—	—

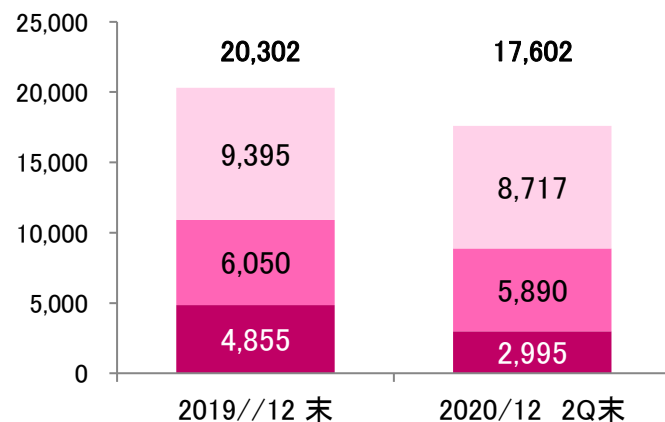
## 2020年12月期2Q 貸借対照表

外貨定期預金を含む現預金残高 9,256百万円 構造改革を踏まえた当面の運転資金は確保

単位：百万円（百万円未満切捨て）



■ 固定資産 ■ 流動資産 ■ 資産合計



■ 純資産 ■ 固定負債 ■ 流動負債

流動資産	10,195	(△2,166)
■ 現金及び預金	9,605	(△1,107) CF△712 外貨定期△400
■ 売掛金	168	(△673)
■ 商品	24	(△43) 評価損△39

固定資産	7,407	(△533)
■ 有形固定資産	5,942	(△412) インカ-事業譲渡、減損
■ 投資その他	1,308	(△111) 敷金△63 繰延税資△45

流動負債	8,717	(△770)
■ 営業未払金	3,643	(△332)
■ リース債務	225	(△180) インカ-事業譲渡による減少

固定負債	5,890	(△68)
■ リース債務	5,097	(△88) インカ-事業譲渡による減少

純資産	2,995	(△1,860)
■ 資本金	1,022	
■ 資本剰余金	966	
■ 利益剰余金	1,167	(△1,872) 配当△217 当期利益△1,654

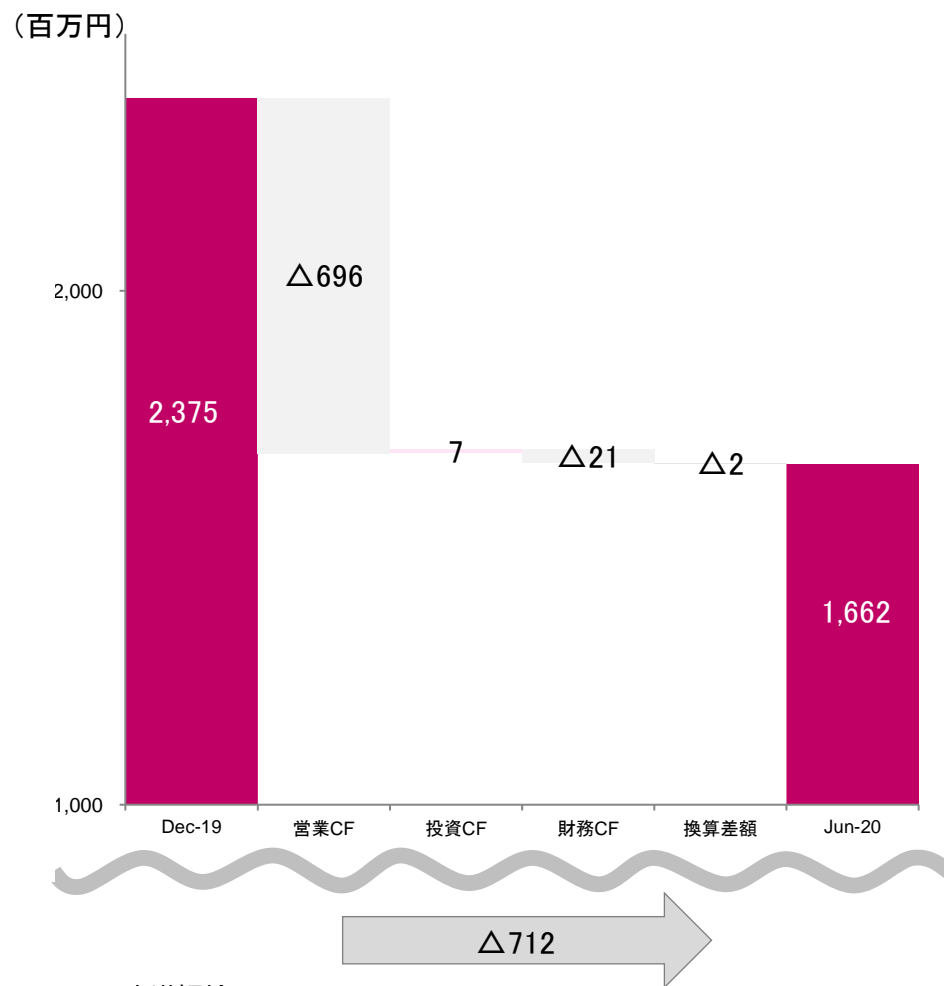
## 2020年12月期2Q CF計算書

資金調達（2Q追加融資）660百万円

大森ホテルML料 一部敷金充当

## CF計算書

単位：百万円（百万円未満切捨て）



※百万円未満切捨て

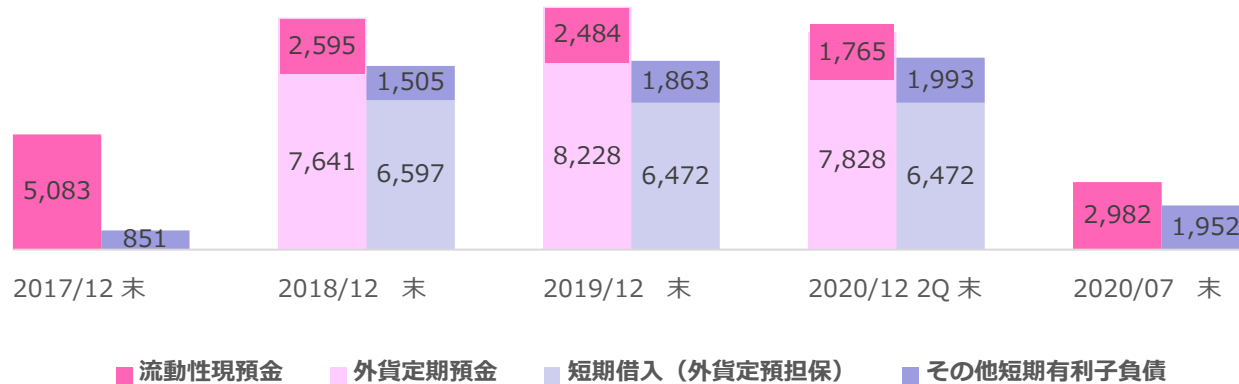
<b>営業CF</b>	△ 696
■ 営業損失	△ 1,126 + 償却費 237 = △ 889
■ 営業債権債務	412
■ 消費税還付	292 ホテル大通 建物に係る消費税
<b>投資CF</b>	7
■ 事業譲渡	20 インター事業の譲渡収入
■ 敷金保証金	63 大森ホテルの賃料に敷金充当
■ 資産取得 等	△ 40 大通ホテル備品支払、システム開発
<b>財務CF</b>	△ 26
■ 短・長借入金	400 新規借入 660
■ リース・割賦	△ 160
■ 配当	△ 216 配当支払い

## 2020年12月期2Q 現預金・短期有利子負債、自己資本比率の推移

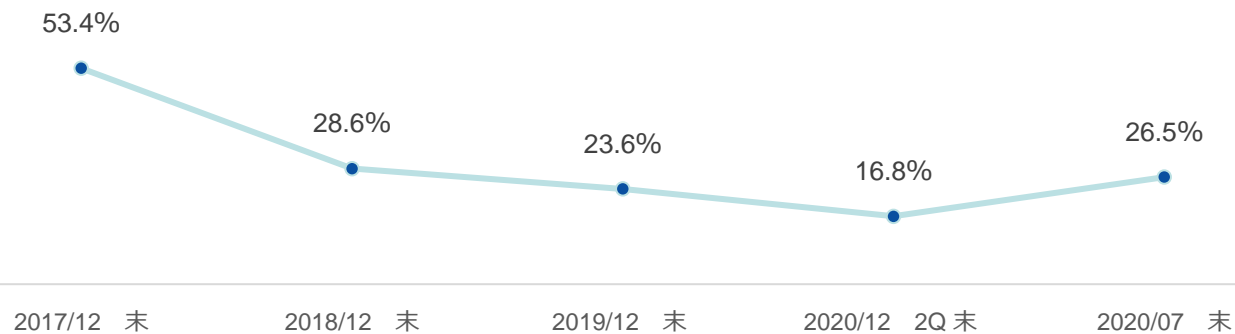
外貨定期預金の円転（為替リスク解消） Cash 29億 2020.8 新規融資 6.5億実行 手元資金さらに厚く

## 現預金 短期有利子負債

単位：百万円（百万円未満切捨て）



## 自己資本比率



2020.8  
新規融資 650百万円



新規融資交渉 継続中

2020.7 外貨定期預金の円転・借入金の返済 ⇒ 自己資本比率 26.5%

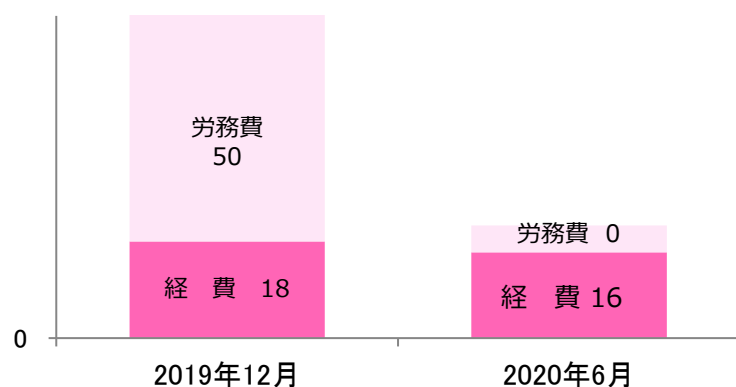


## 2020年12月期2Q 固定費の削減

## 構造改革により1カ月あたり116百万円の固定費を削減

## 1ヶ月あたりの売上原価（固定費）バス事業

単位：百万円（百万円未満切捨て）



## 1ヶ月あたりの販管費（固定費）

単位：百万円（百万円未満切捨て）

		2019年12月	2020年6月	削減額
HTJ	人件費	52	29	△23
	経費	33	29	△4
子会社	人件費	47	23	△24
	経費	83	71	△12
合計	人件費	99	53	△47
	経費	117	100	△17

削減額：△52百万円/月

+

削減額：△64百万円/月

構造改善による固定費削減額：△116百万円/月

アフターコロナにおける利益率向上目指す

## 2020年12月期 業績予想について

新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界的に消費や企業の経済活動が停滞し、各国では海外渡航制限等の措置がとられ、訪日外客数が前年を大きく下回る状況が続いております。  
現時点では依然として収束の見通しは立っておらず、業績予想の算定が困難な状況です。

従いまして2020年12月期の連結業績予想及び配当は未定とさせていただき、影響額の算定が可能となった時点であらためて開示させていただきます。

## 2020年12月期2Q セグメント別の取り組み

	経営効率化	営業力強化
旅行事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 要員削減、営業拠点の統廃合 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 再構築関連費用発生：約21百万円</li> <li>- 販売管理費用：</li> </ul> </li> </ul> 期首対比上半期月平均30百万節減見込み	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 営業仕入部新設 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 高級ホテル・旅館の仕入れ強化</li> </ul> </li> <li>▶ GO TO キャンペーン <ul style="list-style-type: none"> <li>- チラシ制作・配布</li> <li>- BtoC版Gorillaサイト開設</li> </ul> </li> </ul>
バス事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 事業一時休止</li> <li>▶ 10月より、事業再開予定 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 営業拠点の選択・集中 (2～3拠点へ絞り込み)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ クルー送迎便の獲得</li> <li>▶ 国内AGTへの営業強化</li> <li>▶ くるくるバスの国内向け販売強化</li> </ul>
免税販売店事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 市場回復まで必要最低限の人員体制維持</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 免税品の車内販売への参入準備 <ul style="list-style-type: none"> <li>- ターゲット設定・アプリケーション開発</li> </ul> </li> </ul>
ホテル等施設 運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ Tmark city Sapporo一時休業</li> <li>▶ 賃貸料の減免・猶予など交渉</li> <li>▶ 清掃等ランニングコストの見直し</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 東京大森 <ul style="list-style-type: none"> <li>- テレワーク需要の取り組み</li> </ul> </li> <li>▶ 札幌・大通 <ul style="list-style-type: none"> <li>- 北海道道民割、札幌夏割活用 キャンペーン実施</li> </ul> </li> </ul>

# ディスクレームー

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

【お問い合わせ先】

株式会社HANATOUR JAPAN

経理財務部

TEL 03-6402-4411

ホームページ <http://www.hanatourjapan.jp/>